

# 事務事業評価資料

施策名	安全・安心な社会づくり（医療体制の整備）		所管部局課名	健康福祉部健康局医務課					
事業名	ドクターバンク支援事業		担当者電話番号	医療政策係 078-362-3243					
事業目的	兵庫県医師会が行うドクターバンク事業を支援し、同事業に登録した医師と県内の公立医療機関とのマッチングを推進することにより、医療提供体制の充実を図り、県民が安全に安心して生活できる医療環境を整備する。								
事業内容	委託先：県医師会 委託事業：医師技術研修、医療過疎地等医療機関見学ツアー 負担割合：国1/2、県1/4、市町1/4			事業開始年度	平成19年度				
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(3,707 千円) 9,878 千円		(3,108 千円) 12,430 千円		(3,108 千円) 12,430 千円			
	人件費	891 千円	従事人員 0.1人	847 千円	従事人員 0.1人	836 千円 0.1人			
	総コスト (+)	10,769 千円	従事人員 0.1人	13,277 千円	従事人員 0.1人	13,266 千円 0.1人			
事業の目標	医師技術研修の参加人数を増やす。			[目標設定理由] 研修に参加することで、へき地医療機関への円滑な就職を促進するため					
	医療機関見学ツアーの参加人数を増やす。			[目標設定理由] へき地医療の現状を見学し、へき地医療機関へ就職する医師を増やすことにより、マッチングを推進するため					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率 (%)		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	医師技術研修参加人数	10名	毎年度	6名 (1,500 千円)	1名 (1,200 千円)	10名 (1,200 千円)	60.0%	10.0%	100.0%
	医療機関見学ツアー参加人数	30名	毎年度	11名 (65 千円)	8名 (53 千円)	30名 (14 千円)	36.7%	26.7%	100.0%
マッチング成立件数	25件	毎年度	20件 -	19件 -	25件 -	80.0%	76.0%	100.0%	
評価結果	必要性	・北播磨、西播磨、但馬、丹波の各地域においては、医師確保が困難な状況にあり、これらの地域で医師確保を図ることが喫緊の課題となっている。兵庫県医師会が行うドクターバンク事業の支援は、医師確保を図る上で即効性がある。							
	有効性	・医師確保が困難となる中、実際の医師技術研修等への参加人数は低調になっているが、参加した医師からは好評を得ており、医師技術研修等の事業があることで安心感を担保し、ドクターバンク登録への関心が高まり、ドクターバンク事業に登録した医師と県内へき地の公立医療機関とのマッチングが着実に結びついている。 なお、来年度以降は兵庫県医師会と緊密に連携を行い、参加しやすい日程や行程に見直すことにより、多くの参加者を見込んでおり、本事業の成果を着実にあげていく。							
	効率性	・県が独自にドクターバンクの窓口を設置するよりも、医師とのネットワークがある兵庫県医師会が行うドクターバンク事業に県が支援する方が、マッチングを行いやすく、また経費が削減できるため効率的である。 ・また、医師技術研修について、効率化を図り、20年度から研修時間を100時間から80時間程度に見直しを行うなど、効率的な事業実施に努めている。							
	民間・市町との役割分担	・地域医療の確保は県の責務であるが、マッチングが成立し医師確保が図られたへき地市町にも医師不足解消の受益があるため、当該市町の公立病院で医師技術研修の場の提供など協力を求めている。							
	受益と負担の適正化	・地域医療の確保は県の責務であるが、マッチングが成立し医師確保が図られたへき地市町にも医師不足解消の受益があるため、国庫を除いた経費の1/2を市町負担としている。							
実施方針	方向性	新規	拡充	（継続）	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結（休止）	延長	終期設定		
説明	新医師臨床研修制度への移行を契機として、従前から厳しい状況にあった特定の地域や小児・産科等の特定の診療科における医師不足が更に深刻な状況になっている。								
	そのため、兵庫県医師会が行うドクターバンク事業を支援し、同事業に登録した医師と県内の公立医療機関とのマッチングを推進することにより、医療提供体制の充実を図り、県民が安全に安心して生活できる医療環境を整備する。								